

◎平成27年度青少年アンビシャス運動支援の会助成団体活動成果表

参加団体が、活動分野を問わず“子どもがアンビシャスになるための優れた活動”や、“青少年が参加し周りの環境改善に取り組むような子どもたちの成長につながる効果的な活動”などに対し助成を行った。

<年2回助成（4月、8月）>

① 平成27年度前期助成団体及び活動内容

[長期継続活動支援:6事業]

No.	助成団体名	活動名及び内容	所在市町村
1	宇美町 スポーツ少年団	<p>『宇美町スポーツ少年団リーダー育成事業』</p> <p>地域スポーツ活動の受け皿となっている当スポーツ少年団では、団員を引っ張っていく青少年リーダーの育成が喫緊の課題となっている。</p> <p>このため当少年団では、まずリーダー育成プログラムを構築し、8月に「リーダー会」を立ち上げ、その参加者に「公認ジュニアリーダー資格」などの取得や国内外の団体との交流などを数多く体験させた。その結果、年度末までに35人の入会が実現し少年リーダーの育成につながった。</p> <p>今後とも、予定通り3カ年計画で将来の指導者の育成を図り、ひいては参加したこれら子どもリーダーが中心となって、各スポーツ少年団の発展に繋げていこうとするもの。</p>	糟屋郡 宇美町
2	羽根木東区寺子屋 (家庭塾)	<p>『寺子屋文庫読書活動』</p> <p>—おうちの方と一緒に、「ぬくもり」を子どもに届けたい—</p> <p>地域のこどもたちに呼び掛け、月2回「楽しく遊び楽しく学ぶ」をモットーに読み聞かせなどの読書活動を13年間実施されてきたもの。大報告会や発表会も実施、これまで67名のこどもたちが“のびのび・すくすく巣立っている”とのこと。</p> <p>27年度からは、長期的視点に立った親子での読書会やマス計算広場などを取り入れ、活動の充実を図った。</p>	行橋市
3	言葉の森後援会	<p>『聞こえない・聞こえにくい子どもたちの育ちを地域で支えよう』</p> <p>1人で過ごすことが多い聴覚障害児の健やかな発達を促すために、「放課後子どもクラブ」を設け集団で触れ合える場を構築した。</p> <p>障害を持つ子どもたちにとって、聴覚特別支援学校に通う子どもたちなど異年齢の集団との交流を重ねることに</p>	久留米市

		<p>より、コミュニケーション意欲の向上や社会性を培う上での良い刺激となった。これらの体験は、障害認識を深め将来への夢と希望を新たにし、実現に向かうための動機付けとなった。</p> <p>このように、この活動は地域の学校や団体等と聴覚障害児との距離を縮め、子どもたちの主体的な自己表現や積極性の醸成に大きく寄与している。</p>	
4	子どもまちづくりリスト スクール実行委員会	<p>『子どもまちづくりリストスクール《エウレカ》』</p> <p>新しい街「アイランドシティ照葉」を舞台に、子どもたちの目線でまちづくりを行うプロジェクトを推進した。</p> <p>「まちへの帰属意識の醸成」や「10年後の自立的な大人を育てる」ためのワークショップや講座を開催し、子どもたちに主体的にまちづくりに関わり、考え、意見を交換し、実行することを体感させる様々な活動（子どもえんにち、ギャラリーバスなど）を行った。</p> <p>2年目の今年度は、活動の認知度を高め、運営体制の強化、情報発信の充実、及び中学生が参加できるプログラムの開発などを行いとともに、子どもたち自身が自ら考え、挑戦し、自分の住む「まち」をテーマに様々な創作活動を直接体験することにより、子どもたちの健全な育成と自分の住むまちへの愛着を持ってもらうよう取り組んだ。</p> <p>最終的に、「まちの中の子どもの居場所づくり」と「10年後の自立的な大人を育てる」ことを目的としている。</p>	福岡市 東区
5	子どもに能楽を 勧める会(英扇会)	<p>『「北九州市芸術祭・能楽大会」、「福岡宝友会」と 「子どもと留学生の能楽発表会」』</p> <p>多くの能楽発表会（「福岡宝友会」、「子どもと留学生の能楽発表会」、27年度からは「北九州市芸術祭・能楽大会」など）の舞台に立つため、子どもたちと留学生がともに稽古を積み、お互いの交流や他地域の子どもたちとの能楽交流を行った。</p> <p>これらをやり遂げたことで、伝統文化への理解を深め、礼儀作法、集中力、向上心を培うなど、子どもたちの自立や健全な育成に貢献するとともに、能楽の伝承に寄与することとなっている。</p>	北九州市 八幡西区
6	小郡市古賀区 こども囲碁教室	<p>『福岡県南部こども囲碁大会、並びに親子入門教室』</p> <p>6地域のこどもたちが一堂に会し、囲碁を通じた友好を深めること、地域における年代を超えた相互交流を重ねることにより、豊かな心や大いなる志を持った青少年の育成</p>	小郡市

	<p>に寄与している。</p> <p>27年度には、近隣の地域の囲碁教室と連携し、6つの囲碁教室から75名の囲碁青少年の参加をえて、組織的であり大規模な取り組みにシフトして行くことができた。</p> <p>今後は当教室が推進役となり、多くの囲碁教室が連帯した囲碁大会を実現し、囲碁を核に据えた長期的視点に立った青少年育成事業の定着を図っていこうとするもの。</p>	
--	--	--

〔短期活動支援:4事業〕

No.	助成団体名	活動名及び内容	所在市町村
1	アンビネット小郡市 地域連携協議会	<p>『LET'S GO アンビフェスタ』</p> <p>小郡市内のアンビシャス広場や参加団体が中心となって、こどもたちの居場所づくりを推進。その集大成として5回目の参加型「合同フェスタ」を開催したもの。</p> <p>子どもたちに、多くの催し（出し物）の参加、体験させることで青少年の活動の場を拡げるとともに、好奇心や意識が深まりが見られた。</p> <p>この活動は、地域を代表するイベントとして浸透しており、青少年の育成をはじめ各アンビシャス広場・団体の連携・交流の促進に貢献している。</p>	小郡市
2	Twinkie/Cats トウインクル・キャッツ	<p>『第12回 心のバリアフリー「愛いっぱいコンサート」』</p> <p>小学生から成人までの障がい児・者が、楽器演奏や音楽劇を実演・参加することで、貴重な経験を積み、それぞれの自立に向け、自信持ち充実した生活が送れるようにすることを目的として、毎年活動しているもの。</p> <p>今年の公演では、障がいのあるメンバーと健常者や外国のゲスト（マレーシアの民族舞踊団）との競演も実現し、障がいのあるメンバーがステージで生き生きと輝いている姿が、多くの観客から「感動の声」をいただくバリアフリーな公演に育っている。</p> <p>また今回は、初めての試みとして、門司の「マリンパフォルテ」の子どもたちとの交流（一泊研修）も実現し、活動の幅も拡大している。</p>	嘉麻市
3	諫山校区 アンビシャス広場	<p>『諫山校区アンビシャス広場 夏の特別体験学習』</p> <p>アンビシャス広場で行っている地域が連帯した子ども育成事業の中で、山をフィールドとした子どもたちに、今年度は「玄海の家」や「大島」での海をフィールドとした1泊2日の特別体験学習を行った。</p>	京都郡 みやこ町

		<p>子どもたちにとっては、この活動に参加したことで仲間との連帯感や絆、社会生活に必要な態度を体得でき、同時に、海と対峙することで、自然の厳しさや自己管理の大切さも身に付けることができた。</p> <p>これら地域ぐるみの子育てにより、子どもたち一人ひとりの自尊感情を高め、「豊かな心」と「広い視野」を育み、地域社会に貢献できる人材の育成を目指している。</p>	
4	一般社団法人 豊前青年会議所	<p>『豊前中学校競技大会』</p> <p>豊前市内の全中学校に呼び掛け、日頃の部活動の成果を発揮できる場を提供した。</p> <p>スポーツを通じて心身を鍛えるとともに礼儀作法やコミュニケーションの取り方などを身に付けることにつながっており、高見を目指して挑戦する心を育み、チームワークやマナーの大切さを学ぶ機会となっている。</p> <p>これにより、大人たちも巻き込んだ、地域ぐるみでの青少年育成に取り組む行事として確立してきている。</p>	豊前市

② 平成27年度後期助成団体及び活動内容

〔長期継続活動支援:8事業〕

No.	助成団体名	活動名及び内容	所在市町村
1	福岡県立 嘉穂高等学校柔道部	<p>『淬砺杯少年柔道大会』</p> <p>筑豊地区では、人口減少の影響を受け学校数や学級数が激減し、十分な部活動が難しい状況となっている。柔道においても同様であり、これを改善するために同校が中心となって本大会等を主催された。</p> <p>他地区や他県の柔道部員との交流の場を創出することで、柔道を学ぶ子どもたちにとって、貴重な練習の機会となっている。また、マナーを学ぶ絶好の機会にもなっており、柔道をとおしての青少年の健全育成に寄与している。</p> <p>特に今年度は、ほとんど活動のなかった中学生の参加に力を入れた結果、200名以上の参加が実現、中学部の復興につながった。</p> <p>併せて、現在廃れている地域の少年柔道教室（滴水館）の復興にも取り組まれ、将来的な地域少年柔道の拠点づくりの起爆剤となっている。</p>	飯塚市

2	NPO法人 田主丸町緑の応援団	<p>『中国沙漠植林ボランティアの旅 九州田主丸隊』</p> <p>沙漠化を少しでも阻止するため、中国内モンゴル自治区のクブチ沙漠での植林活動に5名の子どもたちが参加した。</p> <p>地元の子どもたちを参加させることにより、地球規模の環境問題や緑化の必要性を体験させることで環境保全の大切さを体感させた。</p> <p>また、日本と中国の子どもたちが植林に一緒に取り組んだり、交流会に参加することにより、国際感覚豊かな青少年の育成につなげ、視野の広い優秀な人材の育成を図った。</p>	久留米市区
3	NPO法人 がんサポーター	<p>『未来ある子どもたちに伝えたい 「いのちのホームルーム」がん教育プロジェクト』</p> <p>患者スピーカーや保健師を地元の小中学校に派遣し、「がん」への正しい知識や「生きること」の大切さを学ばせる「いのちの授業」を推進した。</p> <p>このことにより、子どもたちの気づきや心身の成長を促すとともに、波及効果として、子どもたちによる家族への啓発を誘因し、「がん」予防の普及を図った。</p> <p>このプロジェクトは、小学校～高校での道徳教育などで授業として受け入れられ、教育現場での反響は極めて大きなものとなってきた。 昨年の12月4日には、NPOと企業や行政が共同して推進する優れた取組として「ふくおか共助社会づくり表彰」を受賞された。</p> <p>27年度当初は18校で予定していたが、28校での実施に急増しており、さらに福岡地域を越えて急速に拡大・広域化が見込まれる。</p>	福岡市 東区
4	一般社団法人 大牟田青年会議所	<p>『OMOIAIプロジェクト 道 ～たくさんのふれあいからはじまる～』</p> <p>世界遺産登録を機に、宮之原抗跡での大牟田を知るイベントや、佐世保での池島炭鉱体験・シーカヤック体験などの活動をとおして、自分たちの住むの街の歴史を学ぶことで、子どもたちの自立を促し、郷土への愛着や道徳心に富</p>	大牟田市

		<p>んだ青少年の育成を図った。</p> <p>今後とも、地域の未来を思い描ける次世代を担える心豊かなたくましい人材の育成を目指されている。</p>	
5	にじいろ	<p>『「ふくおか・プレ弁当の日」 ～ふくおか弁当の日を、幼児親子で実践しよう～』</p> <p>「ふくおか弁当の日」に合わせて、幼児や小学校低学年の子とその親を対象とした農業体験、酪農・養鶏場体験、料理教室などを行った。</p> <p>五感でたくさんを感じ取ることで、自分たちが生き物の命を頂き生きていること、食べることの大切さを実感させた。</p> <p>さらに、地域の利点を活かし、地産地消の安心安全な料理法などを学ぶ食育ワークショップも行い、子どもたちに実際に調理を体験させることで、職への興味関心が強くなった。</p> <p>また、実際に地元の食材に触れることで、参加者を地域の生産者等とつなげることができたこと、給食に地元の食材が使われていることを知って、子どもたちに生産者への親近感と感謝の気持ちが芽生えたことなど、目に見えて大きな成果があった。</p>	京都郡 苅田町
6	囲碁センター碁碁 碁楽こども囲碁教室	<p>『子ども囲碁教室交流会』</p> <p>県内6囲碁教室との囲碁交流を実施、囲碁を通じた青少年の交流を推進。9月には「久留米青少年囲碁大会」を主催、各教室との合同囲碁交流を行った。</p> <p>多くの囲碁青少年が、マインドスポーツゲームである囲碁を介して交流を重ねることにより、大きな向上心を持つことができ協調性や連帯感が生まれ人間的な成長につながった。</p> <p>また、子どもたちは老人会との囲碁交流の中で、お年寄りを大事にする心やボランティア精神にも目覚めて、健全育成にもつながっている。</p> <p>なお、3年後をめどに学校や老人ホームなどとの囲碁交流の定着を目指している。長期的には、囲碁交流を介して、他のアンビシャス運動団体との交流やボランティア活動、農業体験などへの拡大も促して行きたいとのこと。</p>	久留米市

7	サン・ビオキッズ	<p>『竹で作ろう！ 竹取り&工作大作戦』</p> <p>地元の竹林所有者の協力を得て、子どもたちに竹を利用した「七夕飾り」「門松づくり」などの工作に取り組みさせることができ、自主性や工夫する力を身に付けさせ、創造することの楽しさを伝える効果があった。また、地域への愛着や環境守っていくことの大切さに気付くかせるよい機会となった。</p> <p>なお、この活動は竹の有効活用に結びつくとともに、竹細工の伝承や竹やぶの保全、ひいては地域環境の改善につながっている。</p>	春日市
8	NPO法人 ハーティーケア基金	<p>『和菓子から学ぶ日本』</p> <p>「和菓子と季節感」をテーマに和菓子作り教室を実施し、参加した34名の子どもたちに、作る人への感謝や季節の風物への興味、人を思いやる心、助け合うことの大かさなどを学ばせることができた。また、物を創ることの楽しさに気付かせることができた。</p> <p>次年度以降は、ご飯を題材とした料理教室や専門家による栄養指導などを取り入れ、健全な食生活の大かさを学ばせ、最終的には自分で調理し、お弁当を作ることができるまで指導していく。</p>	福岡市 中央区

〔短期活動支援:4事業〕

	助成団体名	活動名及び内容	所在市町村
1	游藝会	<p>『学習ボランティア、及び書道パフォーマンス』</p> <p>書道をとおして、挨拶のできる、礼儀正しい、モノを大切にする心の育成を目指し、小学校から高校生まで120名の子どもたちによる小学校等での書写授業やボランティア活動を行った。</p> <p>活動の中では、東北の小学生を応援する「元気うちわ」の作成における思いやりの心の醸成、高校書道部による書道パフォーマンスによる筆文字のすばらしさの普及や、一文字体験での「一人一書」による“やればできる”感の伝達、及び囊祖八幡宮での「筆の感謝祭」を実施する中での物を大切にする気持ちの大かさなどを体感させることができた。</p>	飯塚市
2	ひまわりのびっこクラブ	<p>『平成27年度 宝さがし大会 ～いたづら鬼とありがとうの魔法～』</p> <p>次のような、子どもたちが主役の参加型体験劇行う中で、子どもたちの心身の成長を図っていくことができた。</p>	福岡市 中央区

		<p>①「子どもが主役のストリートアドベンチャー」（参加型劇）で、古着を使った衣装作り・チンドン屋さんと『ありがとう』の言葉を集めるワークドラマサークル（楽器を使ったコミュニケーション体験）を実施する。</p> <p>②「お店作り体験（魔法使いのマルシェを作る）」で、お菓子屋さん、カメラ屋さん、テレビ局を作り、模擬職業体験をさせる。</p> <p>これらの体験をとおして、自分の想いを大切にすること、自分の考えを上手に表現して伝えること、商品を売るときはお客様への感謝の気持ちが大切なことなどを子どもたちに学ばせることで、自主性や積極性に富む、忍耐強い子どもたちの育成につながった。</p>	
3	壺鼓館	<p>『子ども和太鼓体験教室』</p> <p>障がいを持つ7名の子どもたち（あらゆる障がい児対象）に、和太鼓の指導を行い、「壺鼓祭」への参加や、他団体（健常者も含む）の子どもとの交流を行い、達成感や自信を持たせ、保護者も含めて将来への希望を与えて行けた。</p> <p>様々な問題をクリアーしながら取り組んできたが、継続して取り組むことが困難と思えた子が楽しく練習に励み、家族に自信満々で“練習をやってきた”と言うまでになったり、障がいを持つ子どもたちが、共に練習する仲間を気遣うほどになってきた。今では、一緒にやるために努力し、活発で元気な笑顔に溢れた子どもたちに成長できた。</p> <p>この活動をとおして、地域の福祉関係者や太鼓関係者との交流もでき、この実施体験を話すことで、人とのふれ合いや事業実施に役立っている。将来は老人ホームなどの施設訪問もやっていきたい。</p>	福岡市 東区

4	<p>一般社団法人 地域企業連合会 九州連携機構</p>	<p>『FUKUOKAみらいフェスタ2015』</p> <p>子どもたちが自分の親の職場を訪問し、親の働く姿を見ることで、親子の絆を深めるきっかけ作りとなることを願い実施、27年度は103企業・団体で620名の子どもたちが参加した。</p> <p>併せて、子どもたちに感想文や親への感謝状を作成させ発表させることにより、親への憧れと尊敬や感謝の気持ちに気付かせ、家族の絆」を育ませることで、親子関係の改善、ひいては子どもたちがより明るく、輝かしく、大きな夢や未来を語ることのできる環境がますます広がっていく、その一助となっている。</p>	<p>福岡市 博多区</p>
---	--------------------------------------	---	--------------------